

編 集 後 記

大学研究所長 泉 敏 夫

神戸女学院が創立百周年を迎えるに当たり、大学教員より 25 篇にのぼる論文の寄稿を得、ここに 600 頁に垂んとする大巻として「百周年記念論集」の発行を見るにいたりましたことは慶びに堪えません。

明治 8 年の創立以来、本学院はわが国の女子教育において先駆的な働きをなしてきましたが、大正 8 年には専門学校令のもととはいえ、女子高等教育の最高水準を示す大学部を設置しております。そして昭和初期の困難な時勢を乗り越え、本学は昭和 23 年に 4 年制の新制大学として発足しました。その後年々発展の道をたどり、今日では 3 学部 5 学科の組織を有し、学生数は 1,900 余名、また専任教員数は 77 名に達しています。ますますわれわれは教育の責務の重大さを痛感する次第であります。

第 2 世紀を迎え、大学教員の日頃の業績を結集して、ここに本記念論集を刊行し、学界にいささかの貢献をなし得ることは極めて意義深いことと思います。また本論集に大学教員の研究現状報告を掲載しましたが、これによって本学の教育・研究の特色とその展望をご理解いただければ幸いです。

最後に、本論集の編集に当たられた編集委員長 山辺茂教授、編集委員 金城盛紀教授および小関三平教授、加えて編集事務を取られた研究所 矢木公子助手のご苦勞を多とし、謝意を表します。